

医学教育学

担当指導医師

●本学

教授：田島 克巳、伊藤 智範（地域医療学分野）

特任講師：相澤 純

基本方針：

成人教育理論を学び、能動的学修方法を実践する作業をすることで、実際の医療現場において他職種スタッフや患者・家族への啓発活動に必要なコミュニケーションスキルを身につけることができる。また、OSCE、臨床実習で身につけた医行為技能、診察手技を再確認、応用することで、臨床推論に役立てることができる。

実習内容：

1. 実際の授業の一部で、能動学修を実践する（具体的には、レスポンスアナライザーによる演習、TBL、PBL、反転授業）。
2. 上記に必要な教材を作製する。
3. 症候別で鑑別すべき疾患を抽出、グループ化し、鑑別に役立つ医療面接、診察手技についてまとめる。
4. 診察手技についての e-learning コンテンツをネット検索し、まとめる。
5. 上記コンテンツを WebClass に載せて低学年の学生に使ってもらう。
6. 5 のアンケート調査を行うとともに、知識の定着を評価して、コンテンツの内容のブラッシュアップを行う。なお、ブラッシュアップ対象には、前年度の学生の作ったコンテンツも含める。
7. 研究室配属の下級生チームが来室している場合は、上記を共同で行う。

その他：

ヒポクラテスの時代から「後進育成」は医療人の責務であり、医師は医療チームにおけるリーダーとしての役目を負っている。今のところ、伝達技法は国家試験や OSCE のような試験で評価されることは無いが、将来的に実社会ではすぐ役に立つものである。

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	個数	使用目的
実習用機械	短焦点プロジェクター付き白板	1	プレゼン技法修得
実習用機械	バーチャルスライドシステム	1	e-learning 教材作製
実習用機械	レスポンスアナライザー	30	能動学修実践